

8 脊髄損傷の入院リハビリテーションを希望される方の外来受診システムの実施状況

森曜子 (MSW) 赤居正美 (MD) 浦上裕子 (MD) 大熊雄祐 (MD) 小澤竜三 (MD) 深津玲子 (MD) 安濟ノブ (Ns) 井草良子 (Ns) 溝口尚美 (Ns) 鈴木正宏 (医事管理課) 飯塚真理 (MSW) 田代優子 (MSW) 茅根孝雄 (MSW)

1. はじめに

当院では平成18年7月より、脊髄損傷の入院リハビリテーションを希望される患者様について、円滑な診療から入院を図るために、外来受診システムを導入し、書類審査を経て予約による外来診療を行っている。今回は外来受診システムの実施状況を報告する。

2. 対象者・方法

平成21年4月～平成22年3月の1年間で、入院リハビリ申込み用紙を受領した147名を対象とした。基礎データ（性別・年齢・現住所・損傷部位・フランケル分類・受傷/発症原因・合併症の有無・受傷発症日）に加え、受診後の入院可否、入退院日、帰結別の統計・分析を行った。

3. 分析結果報告

- (1) 入院者数：平成21年度の申込み総数147名のうち、102名（69.3%）
- (2) 性別：男性117名 女性30名（そのうち入院した患者 男性83名、女性19名）
- (3) 平均年齢：平均年齢：50.9歳（入院した患者 50.0歳）最年少16歳 最年長82歳
- (4) 住民票所在地：東京69名 埼玉51名 千葉9名 群馬・茨城3名
栃木・福島・長野2名 北海道・青森・神奈川・大阪・滋賀・沖縄1名
- (5) 損傷部位：頸髄損傷86名 胸髄損傷38名 腰髄損傷20名 馬尾損傷1名 部位不明2名
- (6) フランケル分類：A（完全麻痺）50名 B（知覚のみ）16名 C（運動不全）53名
D（運動あり）16名 C/D複数回答 2名 不明10名
- (7) 発症原因：疾病46名 転落41名 交通外傷28名 転倒17名 スポーツ事故11名 他4名
- (8) 合併症：合併症有り87名 そのうち主なもの 精神疾患25名 じょくそう13名
呼吸器の問題6名（レスピレーター4名 酸素吸入2名）等
- (9) 入院期間：平均在院日数132.1日
- (10) 帰結別：在宅69名、転院16名、障害者施設13名（当センター自立支援局等）介護老人保健施設2名、有料老人ホーム1名、入院継続中1名（平成22年11月2日現在）

4. おわりに

このシステムにより受診及び入院前に必要な情報収集を行い、患者様やご家族様にその後の支援の流れを説明できるようになり、入院当初から具体的な目標を持った支援に取り組むことが可能となっている。また、入院決定に係る受診後の入院調整会議には、医師、病棟・外来看護師長、医事管理課、医療相談室と複数の院内職員が参加して入院の可否及び受入れ体制等について検討しており、各部署との院内連携の強化が図られている。

申請のあった患者様については、その半数以上が合併症を有していることから、精神科や整形外科等の医師との連携した医療サービスの提供が求められる。

今後も院内の協力体制を密にするとともに、紹介元の医療機関等とも地域連携を深め、脊髄損傷患者様のスムーズな受入れを図っていきたい。